

暑熱対策について

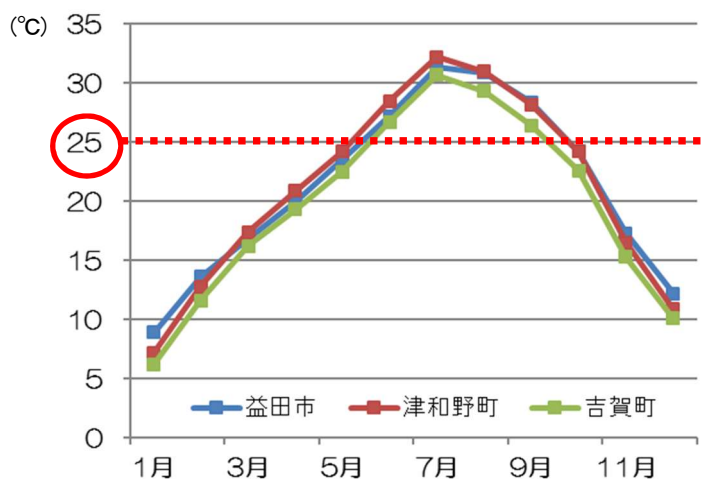


図. 地域別の日最高気温の推移 (2021年)

(出典：気象庁HP)



8月に入り、厳しい暑さが続いています。牛の体調はいかがでしょうか？

牛は **25°Cを超えると暑熱ストレスを受け、乳量や増体・繁殖成績の低下につながります。** 左のグラフが示すとおり、6月になると最高気温が **25°Cを超え、9月頃までは暑熱対策が必要**となります。

暑熱対策は**畜舎環境面**と**飼養管理面**に大別されます。双方から暑熱対策を行い、牛を暑熱ストレスから守りましょう！

【暑熱対策例】

○畜舎環境面

- ・遮光、断熱（グリーンカーテン・遮光ネットの利用、断熱材の設置等）
- ・換気、送風（窓の開放、ファンの設置等）
- ・冷却（畜舎や畜舎周囲、牛体への散水等）

○飼養管理面

- ・涼しい時間帯の飼料給与
- ・新鮮な飲み水を十分飲める様にする
- ・ビタミン・ミネラルの補給



〈ファンの設置〉



〈グリーンカーテン〉



〈屋根への石灰塗布〉



第12回全国和牛能力共進会島根県代表牛最終選抜会について



令和4年7月13日、島根中央家畜市場において、10月に鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会に向け、島根県の代表牛最終選抜会が開催されました。そのなかで第2区(若雌の1)の代表牛として水津美見さん(津和野町)の「みどり」号が選抜されました。西いわみ管内からの出場は約25年ぶり、津和野町からは初出場となります。おめでとうございます！本大会でのご健闘をお祈りしています！！

津和野町からは全共初出場なので、鹿児島でもいい成績が残せるよう気合いを入れて頑張ります！！



〈みどり号と水津誠司さん〉

全国和牛共進会とは？

全国和牛登録協会が主催して、5年に1度開催される和牛の品評会で、「和牛のオリンピック」とも言われています。改良の成果を競う「種牛の部」と、牛肉の肉質を競う「肉牛の部」からなり、全国41道府県が参加し、約460頭の牛が集結します。

野生イノシシ豚熱ワクチン散布演習について

今年5月に吉賀町で野生イノシシの豚熱感染が確認されたことを受け、令和4年7月25、26日に、吉賀町で野生イノシシ豚熱経口ワクチンの散布を実施しました。今回の散布は、秋からの県内本格散布に向けた演習を兼ねており、県や市町の畜産・鳥獣対策関係者など、のべ72人が参加しました。



散布した経口ワクチン

散布は、吉賀町内の中国自動車道沿いでイノシシ出没の痕跡のある場所を中心に行い、合計174箇所・351個の経口ワクチンを散布しました。1週間後の令和4年8月1日にはワクチンの回収を実施し、125個(約36%)のワクチンにイノシシが摂食したと思われる痕跡が残っていました。

今後は、秋からの本格散布がより効率的なものとなるよう、今回の散布演習で得られたデータを分析していく予定です。



散布したワクチンとイノシシ誘引用の圧ぺんとうモロコシ



散布地点付近に出没したイノシシの親子



回収したワクチン(イノシシによる摂食の痕跡)